

山形エクセレントデザイン2023の概要

■ 目 的

本県ものづくり産業における魅力的で競争力の高い商品づくりとデザインマインド向上を目指し、県内で企画・開発・生産された優れたデザインのもの・ことを選定・顕彰する。

■ 主 催

山形デザインコンペティション実行委員会

構成：山形県、山形市、山形県商工会連合会、山形県商工会議所連合会、
山形県中小企業団体中央会、(公財)山形県企業振興公社

会長：山形県知事 事務局：山形県工業技術センター

■ 募集状況（募集期間：令和5年7月3日（月）～9月8日（金））

60点（48社）

- ・過去5年以内に県内で企画・開発・生産され、令和5年12月までにユーザーが購入または利用できるもの・こと。
- ・過去選定外品をリニューアルした作品の再応募も可。

■ 審査会

令和5年10月6日（金）に審査会を開催し、13点の作品が選定され、併せて奨励企業9社が選出された。

【審査委員（★は審査委員長）】※五十音順

★長谷川 敦士 氏	武蔵野美術大学 教授 / 株式会社コンセント 代表
宇南山 加子 氏	株式会社 SyuRo 代表
酒井 聡 氏	東北芸術工科大学プロダクトデザイン学科 教授
原田 祐馬 氏	UMA/design farm 代表
吉泉 聡 氏	TAKT PROJECT 株式会社 代表 / デザイナー

■ 審査の視点

選考の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・自社の強み、技術、素材を活かし新たな価値を生み出している ・地域の生活文化に根ざし豊かな暮らしを提案している ・これからの地域の問題解決につながる ・全体的に調和がとれ美しく、完成度が高い
-------------	--



審査の視点

【計画性】 コンセプトが優れているか。企画から生産、販売までのプロセスが明確であるか

【機能性】 機能、性能が優れているか。操作、保守、管理が容易であるか

【安全性】 安全性が十分考慮され、使いやすく親しみが持てるか

【社会性】 リサイクルなど環境への配慮がなされているか。耐久性、ユニバーサル性を考慮しているか

【市場性】 消費者のニーズに応えているか。品質や価値に見合った価格であるか。商品として魅力的であるか

【未来性】 豊かな未来の暮らしを拓く可能性を持っているか